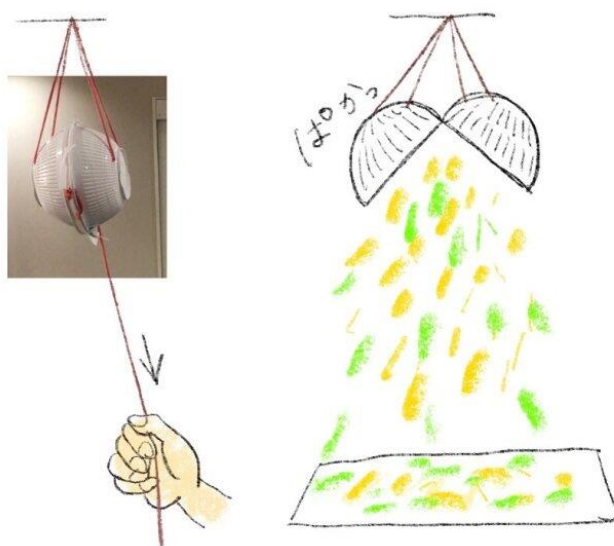


教材名

くす玉アート



◎ (ねらい)

- ・体を大きく使ったり、お花紙が舞い散る様子を楽しんだりしながら制作する。
- ・紐を握って引く動作を獲得する。動作に対する効果の実感を得る。

○ (作り方や材料、アピールポイント等)

- ・準備: 料理用のザルで作ったくす玉を天井から吊し、中に小さく切ったお花紙を入れます。くす玉の下、床にのりを塗った模造紙を置きます。お花紙を切る活動やのりを塗る活動も、学習として児童生徒がおこないます。
- ・使い方: 児童生徒が紐を引くと、くす玉が割れ、お花紙が舞い落ち、模造紙に張り付くことで桜、紅葉、雪などを表現する作品ができます。
- ・同様の教材に、ザル(くす玉にしていないザル)や板を揺らし徐々にお花紙が舞い落ちるものがありますが、くす玉を使うと一度にたくさんのお花紙を舞い散らせることができます。児童生徒の実態に応じて、適したものを選択し活用しています。

教材名

紐で引っ張りやすいペーパーカッター



◎(ねらい)

- ①基礎的な動作で紙を切る
- ②紐を持続けることや手前に引く動きの獲得
- ③動作に対する効果の実感を得る

○(作り方や材料、アピールポイント等)

- ・市販のペーパーカッターの持ち手に紐をつけました。本来つまんで押さえながら引くところ、本教材では、教員の補助のもと紐を持続けるのみ、また紐を持って手前に引くのみで紙を切ることができます。
- ・切る際の摩擦や音などの感覚を得ることができます。動作により紙が切れるという明確な結果が得られます。
- ・紐の先にマスコット等を付けることで握りやすくなると共に意欲の向上にも有効です。
- ・紙の枚数を増やすことで、切るために必要な力の強さを変化させることができ、発展的な学習ができます。